

## エジプト・アラブ共和国訪問報告書

清心女子高等学校3年 中桐実奈美

私は12月23日から30日までエジプトのエルシーシ大統領からのご招待でエジプトに行かせていただきました。エジプトの遺跡や文化についての詳しい知識、エジプトの方々の人懐っこい性格や優しさはこの訪問を通して初めて知ることができました。被災をして辛い思いもたくさんしましたが多くの方々からの優しさにも触れ、エジプトの遺跡での観光やエジプトの方々との交流を通して楽しい思い出が沢山できました。高校生のうちにこのような貴重な経験をさせていただけるのは本当にありがたいことだと感じました。

その中で特に私の印象に残っている遺跡がホルス神殿とハトシェプスト女王の葬祭殿です。ホルス神殿へはナイル川クルーズ船を途中で降りて馬車に乗って行きました。馬車は思っていたよりもスピードがあってエドフの街並みを間近に見ることができたので楽しかったです。ホルス神殿は私がこの旅行で見た遺跡の中で一番保存状態が良くレリーフや神殿の形がとても綺麗に残っていました。本当に紀元前に建てられた神殿だと思えないほどきれいでとても驚きました。この神殿はエジプト神話に出てくるホルス神のために建てられたもので私は神話が好きなのでエジプト神話にもとても興味を持ち、日本に帰ってからエジプト神話についての本を読んだり調べたりしています。

ハトシェプスト女王の葬祭殿は眺めが良く、ルクソール西岸の緑と砂漠の雄大で綺麗な景色を見渡すことができとても感動しました。その他にもルクソール神殿やギザの3大ピラミッドなど多くの遺跡をまわりましたがどれも壮大に行くたびに感動しました。エジプトの現地ガイドさんは日本語がお上手で遺跡についてとても豊富な知識をお持ちでした。遺跡の前やバスの中でくださる説明はとても分かりやすく自分の知識が増えて勉強になり、楽しかったです。

今回エジプトで私たちが行った遺跡や空港の前では必ずセキュリティーチェックがありました。観光客が多く訪れる場所にはツーリストポリスもいて安全面に気を付けている国だと感じました。私はエジプトを訪れてたくさんの魅力を知りそのことを伝えたい、もっと多くの人に来てもらいたいと思いました。実際に現地に行く事で宗教や文化の違いにも直接触れる事ができたので自分の視野が広がり私が必要としていたグローバルな感覚を少し身に着けることができました。また、エジプトではアラビア語が主に使われていますが私達が行く所では英語を使う場面が多く英語の大切さを改めて感じたのでこの経験を活かして英語の学習とともにこれからは他言語も学びたいと思いました。中東の国を訪れたという事で国際問題についても積極的に考えるきっかけとなりました。

現地の方々との交流によってエジプトが私にとって特別な国となり、日本から遠く離れたエジプトの方々が被災した私たちを応援してくれていると思うと私自身もこれから頑張っていこうという気持ちになりました。この度のエジプト訪問はもう一生できない素晴らしい経験だと思いましたがそうした経験をこれからもどんどん重ねてまたいつかエジプトの方々とお会いすることができるよう心より願っています。とても充実していて心癒される旅でした。このプログラムに関わってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。